

エンタ



笑福亭 たま

芸人がお笑いライブで日韓関係について話をする、客席全体が「ええっ！ そんなややこしい話すんの？ 大丈夫なん？」と緊張感が走る。残念ながら、どんな偉い人が語っても解決しない問題なので、いっそ私も解決案を書く。私が望むのは「日本は客観的事実の検証をしつつ、朝鮮半島を植民地にした事実のため、国として謝罪と反戦の気持ちを持ち続ける」ことであり、一方、韓国は「戦時中の事件は過去の話で、現在の日本人にはほぼ無関係なので、今さら謝罪などは不要であり、もう気にしない」という態度を取るべきだと思う。もちろん、「日本は悪くな

■ 芸人の政治的な話 ■

い！」と言う日本人とか、「日本人は許さん！」と言う韓国人が一定数いても自由だ。今でも「もっぺん戦争してアメリカに勝ちたい！」と言う高齢者がいるのと一緒だ。しかし、それは「ノストラムスの大予言はノンフィクションですよ！」と叫ぶぐらい「個人の自由としては保障された言動だが、国の公式見解としては認められない言動」とする。そうであるならば、既に金銭面で解決済みなので、日本は韓国に謝罪はしても、お金を払う必要はない。当時の被害者を補償するよう、日本は韓国政府に強く要請し、いっそ彼らのために平和の少女像を日本がそこかしこに作り続けたらええのかもしれない。

聞いても無駄なだけ!?

にもかわからず、韓国が「日本は謝れ！」と言い、日本が「いつまでも謝ってられるか！」と言い合う事が問題だ。政治は実は両国民の気持ちに反映される。だから「本当は仲良くすべきで、戦争はもうしない」という原点に向かい、温かい気持ちと問題解決への論理的思考が必要だ。こういう論理的な思考と温かい気持ちを持つ人に、落語は支持されやすい。しかし落語好



さまざまなレッテルを貼られる筆者

きの人口はそれほど多くないので、逆算すると、やっぱりそんな簡単には問題解決しないのだろう。

こんなふうには芸人が政治の話をする、すぐ保守とか反権力とかいろんなレッテルを貼られるが、お笑い芸人は政治的立場を問われない職業だ。なぜならラーメン屋にちいち保守か反権力を求めて入るアホはいない。それと一緒に芸人はあくまで「お客の笑顔が見たい」だけだからだ。目的がそれだけだし、ここで書いたように、芸人の政治的な話など、聞いても無駄なだけだ。無駄に付き合わせてください！

(落語家 次回掲載は十月十七日)